

# 三浦市観光振興ビジョン



三浦市は 人よし 食よし 気分よし

令和3年（2021年）5月  
三浦市

# 目 次

## 第1章 観光振興ビジョンの目的と位置付け

1	ビジョンの目的	1
2	ビジョンの位置付け	2

## 第2章 観光を取り巻く現状と課題

1	国における観光の現状	3
(1)	概況	3
(2)	国内旅行者数	4
(3)	旅行消費額	5
2	神奈川県における観光の現状	6
(1)	概況	6
(2)	県内旅行者数	7
(3)	観光消費額	8
3	三浦市における観光の現状	9
(1)	概況	9
(2)	入込観光客数	10
(3)	観光客消費額	11
(4)	地区別の現状	12
4	三浦市の観光振興の課題	20
(1)	三浦市全体	20
(2)	三浦市内地区別	21

## 第3章 観光振興ビジョン

1	ビジョンが目指すもの	22
2	ビジョンの基本方針	23
(1)	三浦市全体	23
(2)	三浦市内地区別	24
3	ビジョンの期間	24

## 第4章 観光振興ビジョンの目標達成に向けた施策と推進体制

1	ビジョンの具体的な展開	25
2	ビジョンの情報戦略	26
3	ビジョンの推進体制	27
4	ビジョンの進行管理	27

## 第1章 観光振興ビジョンの目的と位置付け

### 1 ビジョンの目的

近年、国内における観光を取り巻く状況は大きく変化しています。

政府は、平成20年（2008年）10月に観光庁を発足させ、平成28年（2016年）3月には「明日の日本を支える観光ビジョン」を策定し、令和2年（2020年）の訪日外国人観光客数4,000万人、訪日外国人の観光客消費額8兆円を目標とするなど、「観光立国」への新たな国づくりに向けた取組を進めてきました。

こうした取組を受けて、令和元年（2019年）には過去最高の3,188万人の外国人観光客が訪日しています。

ところが、令和2年（2020年）に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、訪日外国人観光客はもとより日本人の国内観光客も大幅に減少し、令和3年（2021年）となった現在もこのような状況が続いています。

三浦市におきましても、平成28年（2016年）から4年連続で600万人を超えていた入込観光客数は、令和2年（2020年）には大幅に下回り、今後ワクチンの接種や特効薬の開発などにより新型コロナウイルスの感染が収束するまでは、観光にとって大変厳しい状況が続くものと考えます。

一方で、こうした状況においても、「ウィズコロナ」や「アフターコロナ」への対応や、外国人観光客などの多様化する観光ニーズに対応すべく、三浦市のセールスポイントである「グルメ」や「自然環境」などを地域の観光資源として効果的に活用しながら、戦略的かつ継続的に観光振興を図っていくことが必要であると考えます。

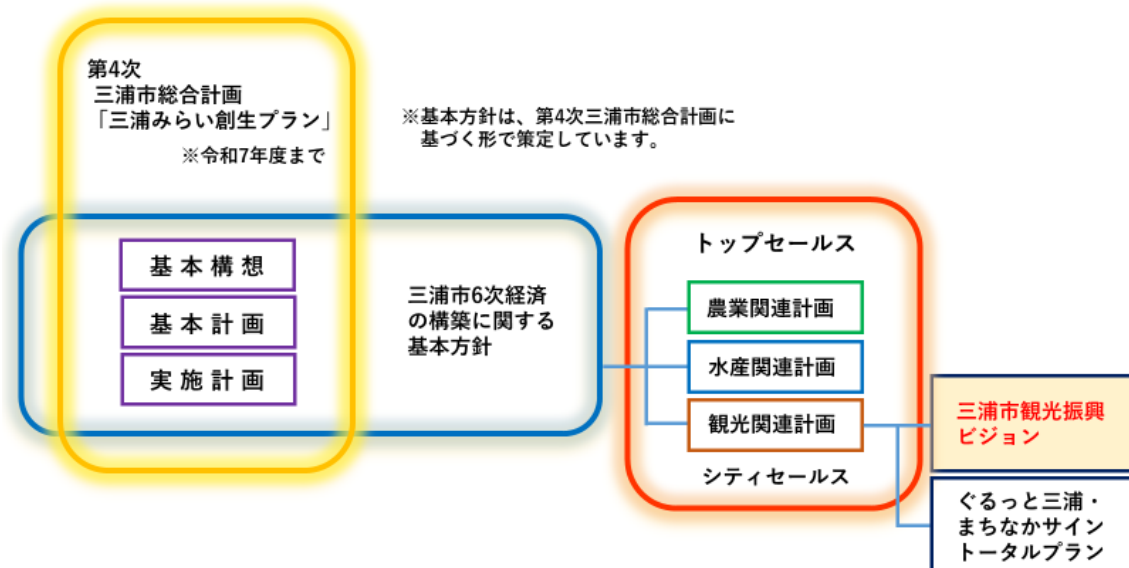
そのため、三浦市全体と地区毎に観光のあるべき姿を明らかにし、三浦市、（一社）三浦市観光協会、（株）三浦海業公社など、三浦市の観光関連施策に関わる事業者や団体が、それぞれの役割を担いながら、施策や事業を展開していくことを目的に、三浦市観光振興ビジョン（以下「観光振興ビジョン」という）を策定するものです。



## 2 ビジョンの位置付け

観光振興ビジョンは、平成 31 年（2019 年）3 月に策定された「ぐるっと三浦・まちなかサイン・トータルプラン」と同様、第 4 次総合計画「三浦みらい創生プラン」に基づく観光関連施策推進のためのビジョンとして位置付けるとともに、「三浦市 6 次経済の構築に関する基本方針」に基づく観光関連計画として位置付けます。

※「三浦市 6 次経済の構築に関する基本方針」とは、三浦市経済部が平成 29 年（2017 年）に「三浦みらい創生プラン」の基本目標に基づき位置付けたもので、農業、漁業・水産業、観光業の 3 つの営みを基礎としながら、それぞれの業種が確立してきた「しくみ」の共有と業種の枠組みを超えた連携による「三浦市ならではの 6 次経済の構築」をもって地域経済の振興や雇用の創出を目指すとしたもの。



## 第2章 観光を取り巻く現状と課題

### 1 国における観光の現状

#### (1) 概況

政府は、平成20年（2008年）10月に観光庁を発足させ、以降「観光立国」への新たな国づくりに向けた取組を進めてきました。

特に、訪日外国人観光客の増加を目的として、キャッシュレス対応や無料Wi-Fiなどの受入環境整備、新たな観光コンテンツの開発、戦略的な訪日プロモーションに力を入れるなどの取組を進めてきました。

その結果、近年の国内旅行者数やこれに伴う旅行消費額は、増加の一途を辿ってきました。

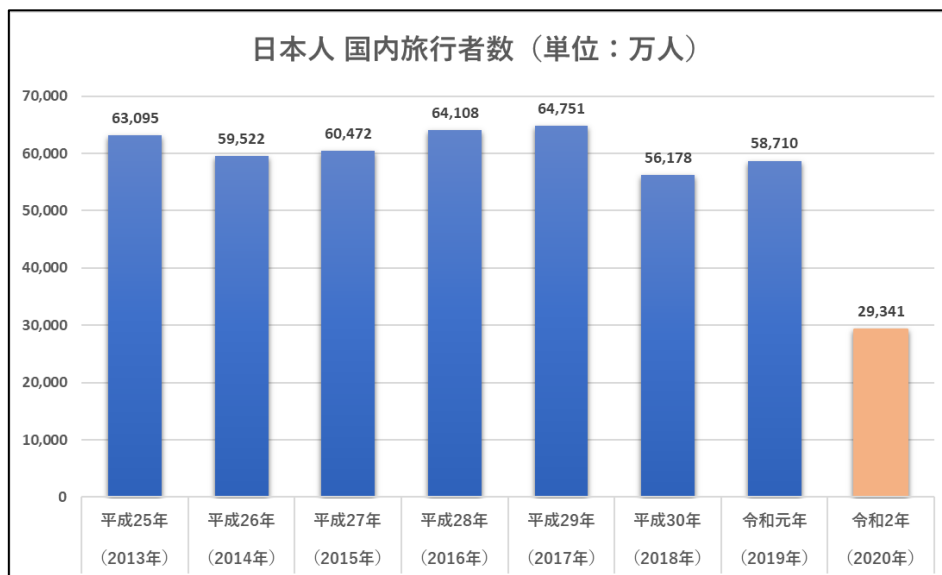
ところが、令和2年（2020年）に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、訪日外国人観光客のみならず日本人の国内観光客も大幅に減少し、令和3年（2021年）となった現在もこのような状況が続いています。



## (2) 国内旅行者数

### ① 日本人国内旅行者数の推移

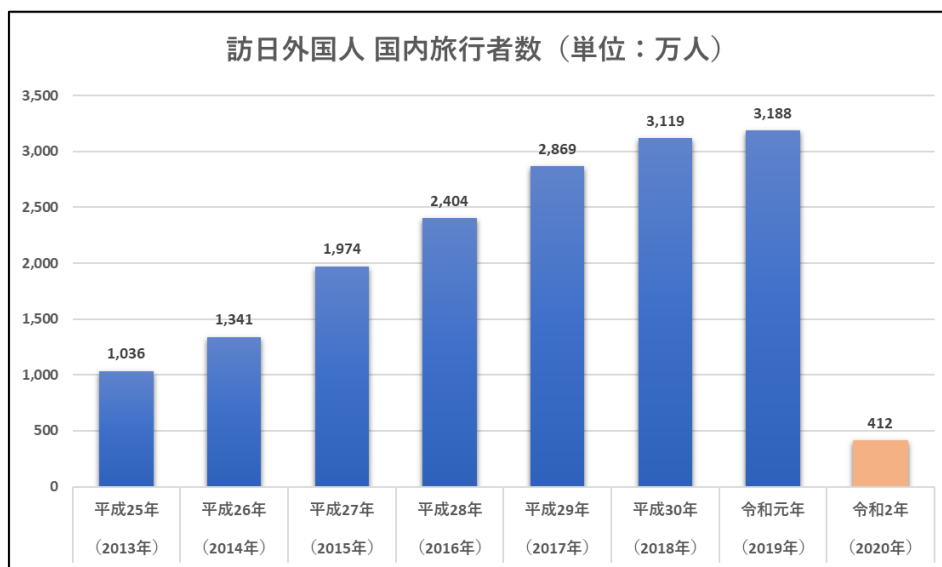
近年、日帰り客数と宿泊客数を合計した延べ旅行者数は6億人前後で推移していましたが、令和2年(2020年)は新型コロナウイルスの感染拡大により、大幅な減少となりました。



(出典: 観光庁 旅行・観光消費動向調査)

### ② 訪日外国人国内旅行者数の推移

政府による訪日外国人の誘客を目的とした取組により、令和元年(2019年)には過去最高の3,188万人の外国人旅行者が訪日するなど、年々増加の一途を辿っていましたが、令和2年(2020年)は新型コロナウイルスの感染拡大により、大幅な減少となりました。



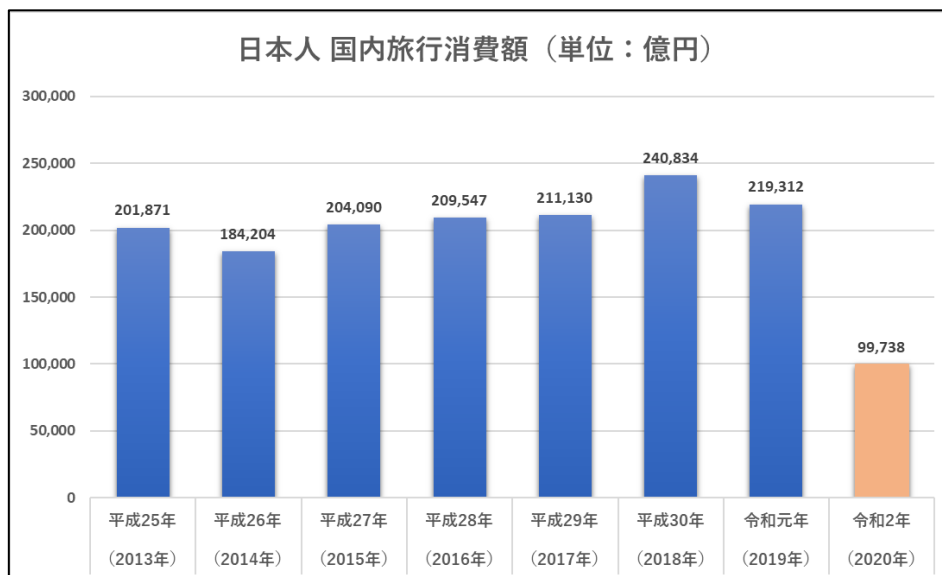
(出典: 日本政府観光局 (JNTO) 訪日外客統計 ※令和2年は暫定値)



### (3) 旅行消費額

#### ① 日本人国内旅行消費額の推移

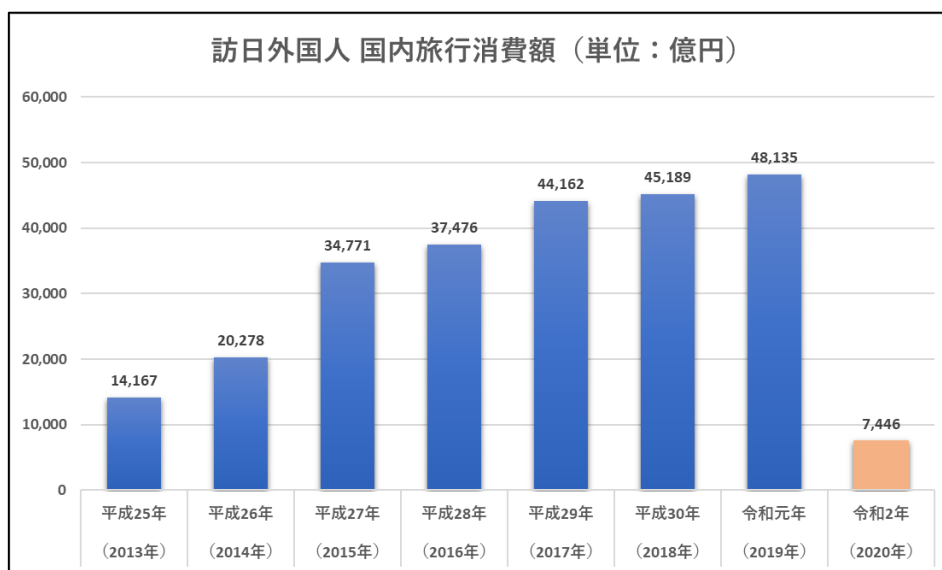
近年、日帰り旅行と宿泊旅行等を合計した総額は20兆円前後で推移していましたが、令和2年(2020年)は新型コロナウイルスの感染拡大により、大幅な減少となりました。



(出典：観光庁 旅行・観光消費動向調査)

#### ② 訪日外国人国内旅行消費額の推移

令和元年(2019年)の訪日外国人旅行者の総消費額は4.8兆円と過去最高を更新しており、訪日外国人旅行者数の増加とともに、近年は増加の一途を辿っていましたが、令和2年(2020年)は新型コロナウイルスの感染拡大により、大幅な減少となりました。



(出典：観光庁 訪日外国人消費動向調査)

※令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響で試算値)

## 2 神奈川県における観光の現状

### (1) 概況

神奈川県は、平成21年（2009年）10月に「神奈川県観光振興条例」を制定するとともに、平成22年（2010年）3月にはこの条例に基づき「神奈川県観光振興計画」を策定、その後も改定を繰り返し、観光の振興により将来にわたる持続的な経済社会の発展が図られるよう取組を進めてきました。

令和元年（2019年）から令和3年（2021年）までの3年間を計画期間としている現在の計画では、「観光資源の発掘・磨き上げ」、「戦略的プロモーションの推進」、「受入環境の整備」、「観光関連産業の成長促進」といった4つの基本施策に具体的な事業を紐づけ、事業の実施を通じて観光の振興を推進しています。

その結果、近年の県内旅行者数やこれに伴う観光消費額は増加傾向にありましたが、令和2年（2020年）には新型コロナウイルスの感染拡大により、訪日外国人観光客のみならず日本人観光客も大幅に減少し、令和3年（2021年）となった現在もこのような状況が続いています。

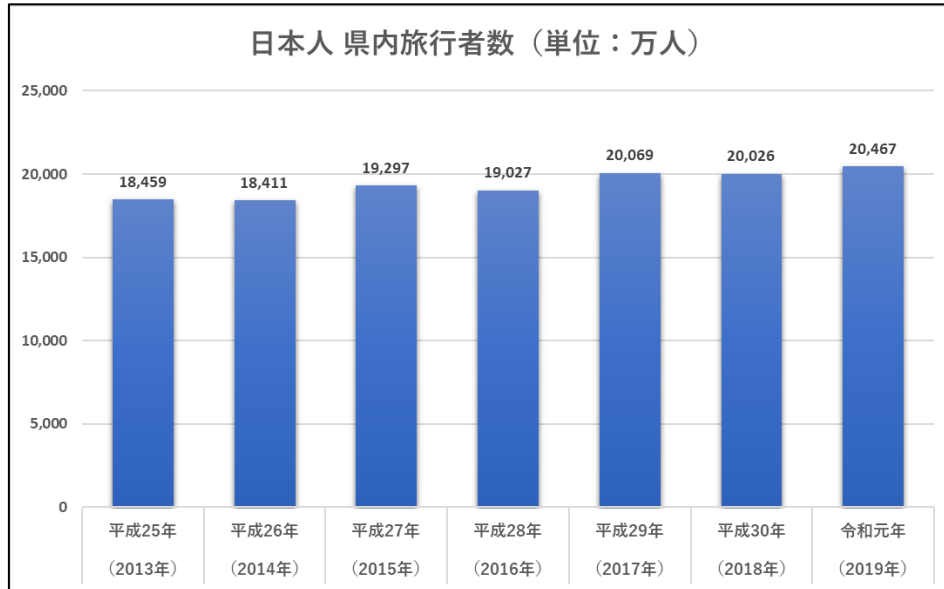




## (2) 県内旅行者数

### ① 日本人県内旅行者数の推移

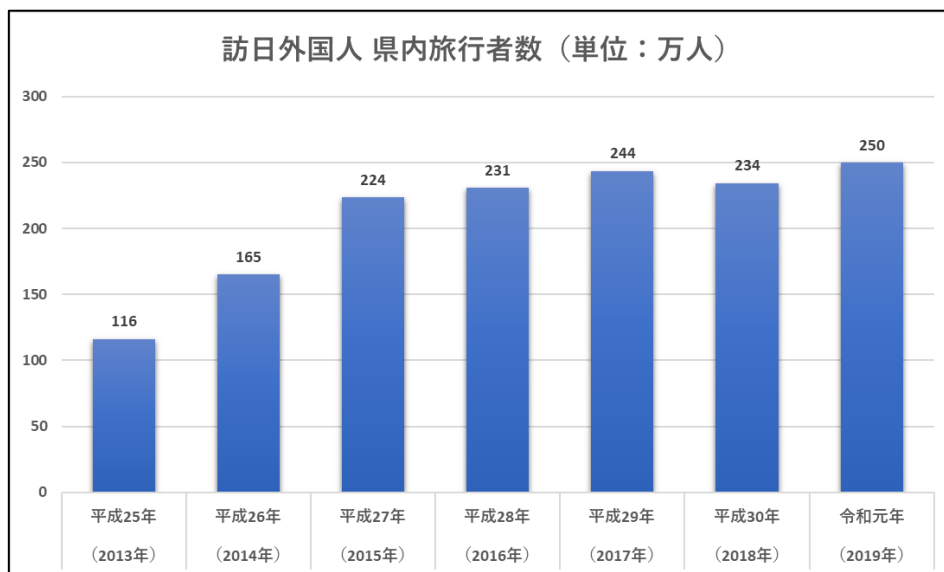
神奈川県を訪れる延べ旅行者数は、平成29年(2017年)以降2億人を突破し続けるなど、近年は増加傾向にありましたが、令和2年(2020年)は新型コロナウイルスの感染拡大により、大幅な減少が見込まれています。



(出典：神奈川県 入込観光客数調査)

### ② 訪日外国人県内旅行者数の推移

平成27年(2015年)までは急増し、それ以降は少しずつ増加傾向にあるといった状況で、令和元年(2019年)には250万人に上ったものの、令和2年(2020年)は新型コロナウイルスの感染拡大により、大幅な減少が見込まれています。

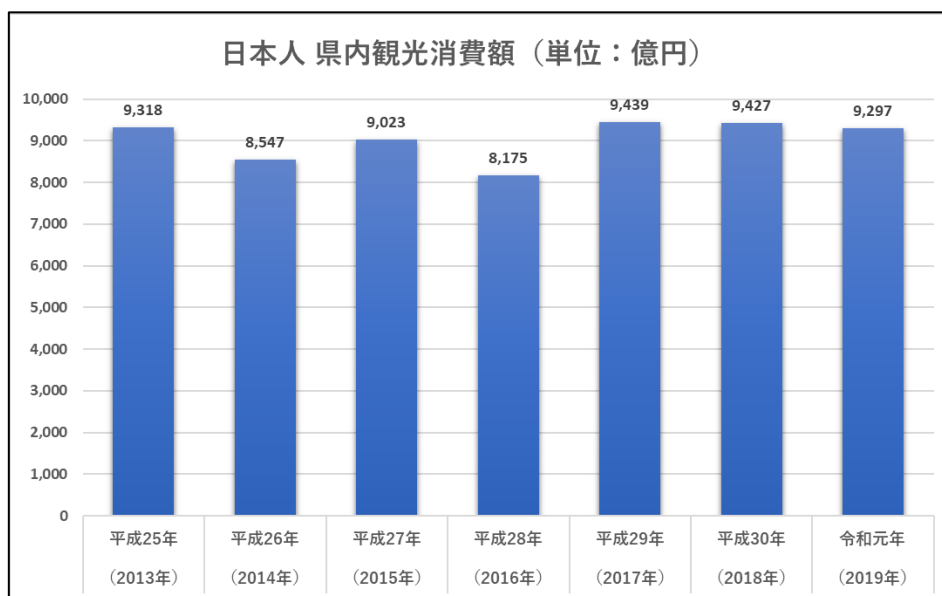


(出典：日本政府観光局(JNTO) 訪日外客数及び観光庁 訪日外国人消費動向調査)

### (3) 観光消費額

#### ① 日本人県内観光消費額の推移

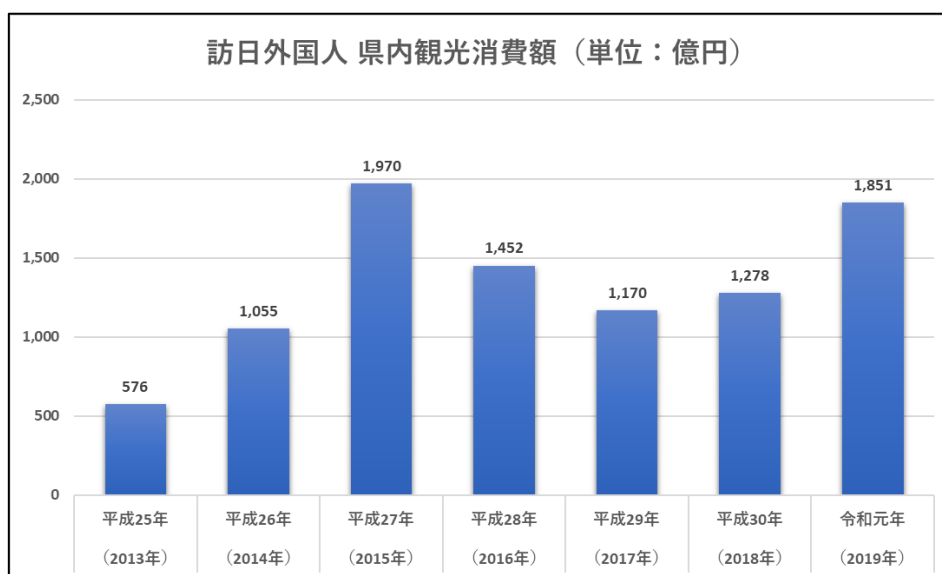
8,000億円から9,500億円と、年によってばらつきはあるものの、旅行者数の増加に伴い、平成29年(2017年)から令和元年(2019年)までの3年間は9,000億円を超えていましたが、令和2年(2020年)は新型コロナウイルスの感染拡大により、大幅な減少が見込まれています。



(出典：観光庁 共通基準による観光入込客統計)

#### ② 訪日外国人県内観光消費額の推移

平成27年(2015年)をピークにそれまで急増し、その後は伸び悩みがみられましたが、令和元年(2019年)に訪日外国人旅行者数の増加に伴い、再び大きく増加しています。なお、令和2年(2020年)は新型コロナウイルスの感染拡大により、大幅な減少が見込まれています。



(出典：観光庁 共通基準による観光入込客統計)

### 3 三浦市における観光の現状

#### (1) 概況

三浦市では、平成16年（2004年）4月に「営業開発課」を設置し、市の3大地域資源である「人・まち・自然」の価値に改めて着目することで地域の観光資源の開発を進めるとともに、対外的・専門的にシティ・セールスを行うなど、新たな「みうらファン」の獲得を目指してきました。

また、平成26年（2014年）からは、観光の面においても三浦市と結びつきの強い京浜急行電鉄株式会社より社員を派遣していただき、これまで4人の方々に「観光プロモーション担当課長」として、観光協会との連携やインバウンド施策の推進、企業や大学とを結びつけての新たな観光振興などに取り組んでいただき、大変大きな成果を出していただいています。

こうして、三浦市では独自策を含め様々な取組を通じてこれまで観光振興や地域活性化を図ってきており、平成23年（2011年）の東日本大震災の年を除くと、年々入込観光客数やこれに伴う観光客消費額は増加し、平成28年（2016年）以降は4年連続で600万人を超える観光客にお越しいただくまでに至っています。

しかし、令和2年（2020年）に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大の影響は三浦市においても例外ではなく、入込観光客数やこれに伴う観光客消費額は大幅な減少となりました。



国際旅行博における三浦のPR



三浦ならではのイベントの開催



企業や大学と協働した取組



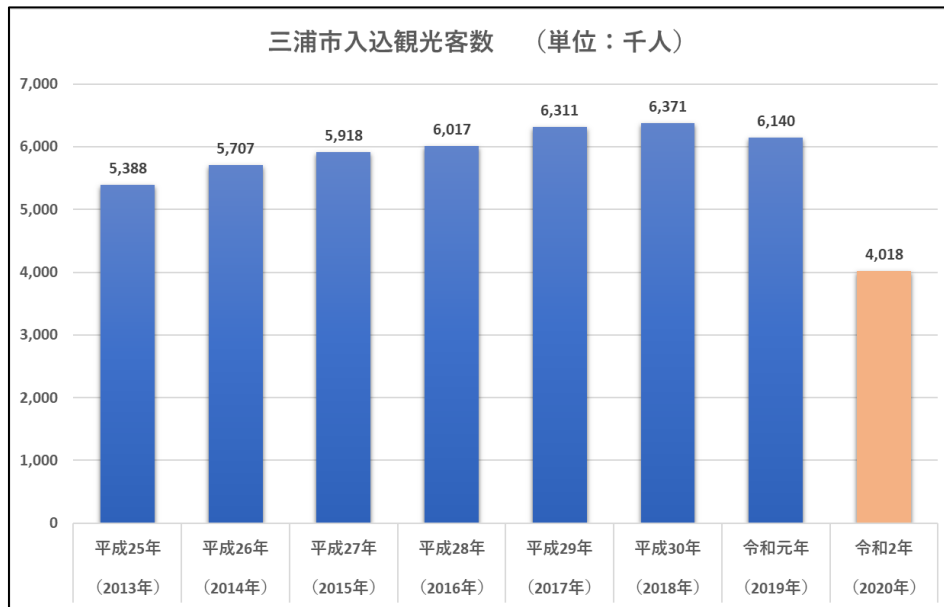
プレミアム付商品券の発行

## (2) 入込観光客数

### ① 入込観光客数の推移

三浦市の入込観光客数は、平成23年(2011年)の東日本大震災時には500万人を割り込んだものの、その後は再び増加を続け、平成28年(2016年)には600万人に達しています。

以降も600万人をキープしていましたが、令和2年(2020年)は、新型コロナウイルス感染症の影響により、400万人程度と大幅に減少しました。



(出典：三浦市統計書及び神奈川県入込観光客調査結果 ※令和2年は速報値)

### ② 外国人観光客数の推移

三浦市では、外国人観光客の訪問数を把握するための手法は確立されていませんが、三浦市を訪れる外国人観光客の来訪状況を分析する参考数値として、平成27年(2015年)7月から運営している「三崎口駅前観光案内所」の外国人観光客の利用実績があります。

これまでの実績からみると、平成28年(2016年)以降、外国人観光客の利用状況は増加傾向にあります。



みうら夜市を楽しむ外国人



三浦ツアーで海南神社拝観

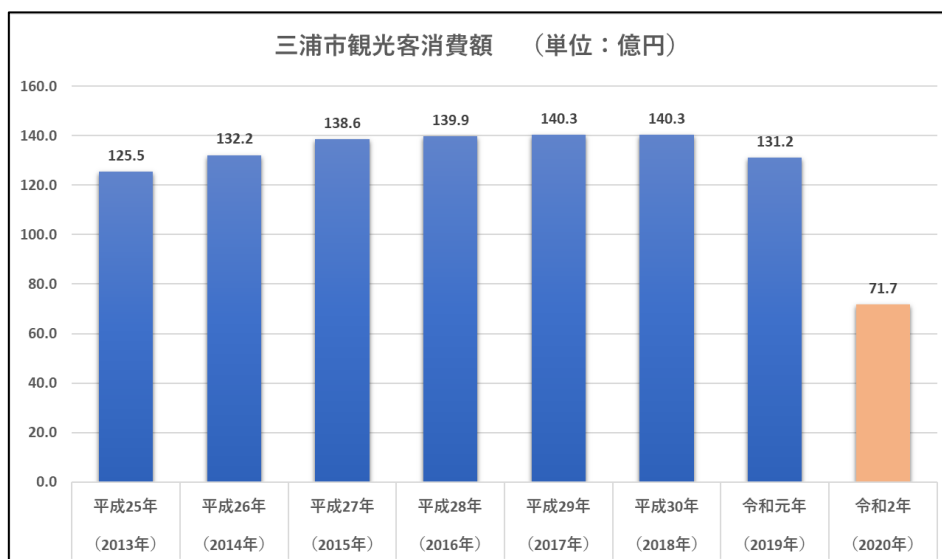
### (3) 観光客消費額

#### ① 三浦市観光客消費額の推移

観光客消費額の推移は、入込観光客数と同様の傾向が見られます。

平成23年(2011年)の東日本大震災の影響で一時120億円を下回ったものの、平成25年(2013年)以降は増加を続け、平成30年(2018年)には140.3億円にまで達しています。

なお、令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響で、70億円程度と大幅に減少しました。



(出典：三浦市統計書及び神奈川県入込観光客調査結果 ※令和2年は速報値)

#### (4) 地区別の現状

三浦市では、入込観光客数の集計にあたり、観光地区を三崎、城ヶ島、油壺、三浦海岸、剣崎、和田、三戸の7つの地区に分類しています。

ここでは、和田、三戸の2つの地区は「初声地区」としてまとめたいので、それぞれの現状について整理をします。





① 地区別の観光概要

ア 三崎地区



<p>主な観光資源 やイベント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三崎のまぐろ</li> <li>・うらりマルシェ</li> <li>・にじいろさかな号</li> <li>・三崎・城ヶ島渡船</li> <li>・MISAKI ぐるぐる春まつり</li> <li>・みうら夜市</li> <li>・三崎港町まつり（三崎木遣みこしパレード）</li> <li>・三崎まぐろ祭年末ビッグセール</li> <li>・三崎朝市</li> <li>・海南神社</li> <li>・遊漁船</li> <li>・チャッキラコ</li> <li>・海南神社の例大祭</li> <li>・三崎・城ヶ島花火大会</li> <li>・魚市場</li> <li>・昭和の街並み（商店街）</li> <li>・みうらレンタサイクル</li> <li>・宮川公園（風車）</li> </ul>
<p>特長・その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三崎漁港周辺には飲食店が豊富に点在しており、みさきまぐろきっぷの掲載店も多い。</li> <li>・平成 23 年（2011 年）以降は三浦市内で最も多くの観光客が訪れる地区となり、(株)三浦海業公社が運営するうらりマルシェが三浦市最大の集客施設となっている。</li> <li>・うらりマルシェにはみうらレンタサイクルのポートがあり、三崎・城ヶ島渡船と併せて城ヶ島地区への回遊機能は高い。</li> <li>・三崎朝市は早朝にもかかわらず大勢の人出で賑わっている。</li> <li>・みうら夜市や海南神社の例大祭、三崎港町まつりなど、三崎下町を中心とした大型イベントがある。</li> <li>・釣りスポットとしても人気があり、多くの釣り客が訪れている。</li> <li>・二町谷にマリリゾートの建設が計画されており、新たな観光資源として期待されている。</li> <li>・宮川公園には風車があり、ランドマークとしての役割を担っている。</li> <li>・主な宿泊施設として三崎船員保険保養所である「サンポートみさき」などがある。</li> </ul>

イ 城ヶ島地区



<p>主な観光資源 やイベント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県立城ヶ島公園</li> <li>・ ウミウ展望台</li> <li>・ 安房埼灯台</li> <li>・ 海上イケス釣り堀</li> <li>・ 三崎・城ヶ島渡船</li> <li>・ ハイキングコース</li> <li>・ 初日の出</li> <li>・ みさき白秋まつり</li> <li>・ 城ヶ島大橋（かながわの景勝 50 選）</li> <li>・ 白秋記念館と白秋碑</li> <li>・ 城ヶ島灯台</li> <li>・ 水仙</li> <li>・ みうらレンタサイクル</li> <li>・ 馬の背洞門</li> <li>・ 城ヶ島水仙まつり</li> </ul>
<p>特長・その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神奈川県が実施主体の「観光の核づくり事業」において、対象地域に認定されている。</li> <li>・ ハイキングコースからの景観は雄大で定評がある。</li> <li>・ 伊勢エビ、アワビ、サザエといった海産物が豊富である。</li> <li>・ 西側には飲食店も豊富で、みさきまぐろきっぷの掲載店も多い。</li> <li>・ 釣りスポットとして人気があり、多くの釣り客が訪れている。</li> <li>・ ダイビングの拠点でもある。</li> <li>・ 駐車場が多く、直通バスも運行されている。</li> <li>・ 令和2年4月には城ヶ島大橋が完全無料化された。</li> <li>・ 海上イケス釣り堀にみうらレンタサイクルのポートが開設されており、回遊性の向上に寄与している。（乗り捨てのみ）</li> <li>・ 主要な宿泊施設として「城ヶ島京急ホテル（令和2年5月閉館・建て替え予定）」や「遊ヶ崎リゾート」があり、「城ヶ島京急ホテル」は、早期オープンが期待されている。</li> </ul>

ウ 油壺地区



<p>主な観光資源 やイベント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荒井浜海岸、横堀海岸等（海水浴場）</li> <li>・小網代の森</li> <li>・油壺湾（かながわの景勝 50 選）</li> <li>・諸磯湾</li> <li>・ハイキングコース（関東ふれあいの道（首都圏自然歩道））</li> <li>・京急油壺マリンパーク（令和 3 年（2021 年）9 月閉館予定）</li> <li>・油壺温泉</li> <li>・みうらレンタサイクル</li> <li>・道寸祭り</li> </ul>
<p>特長・その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通年では小網代の森や油壺マリンパークが主な集客ポイントで、夏場は海水浴やマリンレジャーなどによる来遊客が多い。</li> <li>・「かながわの景勝 50 選」に選定されている油壺湾や、係留しているヨットと富士山を同時に眺められることから、撮影スポットとして人気の諸磯湾がある。</li> <li>・主要な宿泊施設として「ホテル京急油壺観潮荘」や「三浦海の学校」のほか民宿がある。</li> <li>・令和元年（2019 年）8 月、回遊性向上のためホテル京急油壺観潮荘にみうらレンタサイクルのポートが開設された。</li> <li>・令和 2 年（2020 年）4 月、ホテル京急油壺観潮荘は温泉が楽しめるホテルとしてリニューアルされた。（油壺温泉）</li> </ul>



エ 三浦海岸地区



<p>主な観光資源 やイベント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河津桜</li> <li>・三浦海岸（海水浴場、マリンレジャー、ビーチスポーツ）</li> <li>・金田湾朝市</li> <li>・三浦海岸桜まつり</li> <li>・金田湾桜まつり</li> <li>・三浦海岸納涼まつり花火大会</li> <li>・みうらレンタサイクル</li> <li>・初日の出</li> <li>・三浦国際市民マラソン</li> <li>・ウインドサーフィンW杯横須賀</li> <li>・三浦大会</li> <li>・三浦海岸わいわい市</li> </ul>
<p>特長・その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（一社）三浦市観光協会が事務所を構え、観光の拠点としている。</li> <li>・三浦海岸桜まつりや三浦国際市民マラソン、三浦海岸納涼まつり花火大会など、三浦市最大級の集客を誇るイベントが開催されている。</li> <li>・海水浴場としても市内最大の集客を誇る。</li> <li>・三浦海岸駅を中心に主に海岸方面にかけて飲食店が豊富にある。</li> <li>・ロケーションの良さを生かしたおしゃれなカフェやレストランも点在している。</li> <li>・三浦海岸駅は、東京から電車で約90分、横浜から約50分とアクセスが良い。</li> <li>・三浦海岸駅前にみうらレンタサイクルのポートが開設されており、回遊性の向上に寄与している。</li> <li>・市内最大の宿泊施設として「マホロバ・マインズ三浦」があるほか、民宿がある。</li> </ul>

オ 剣崎地区（松輪・毘沙門）



<p>主な観光資源 やイベント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 劔崎（かながわの景勝 50 選）</li> <li>・ 盗人狩（かながわの景勝 50 選）</li> <li>・ 大浦海岸（海水浴場）</li> <li>・ 劔崎灯台</li> <li>・ エナ・ヴィレッヂ</li> <li>・ 遊漁船</li> <li>・ 松輪サバ</li> <li>・ みうらレンタサイクル</li> <li>・ ハイキングコース（関東ふれあいの道（首都圏自然歩道））</li> </ul>
<p>特長・その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三浦半島南東側に位置し、荒々しい海岸線と東京湾口の雄大な景観が魅力となっている。</li> <li>・ 釣りスポットとしても人気があり、多くの釣り客が訪れている。</li> <li>・ 大浦海岸は全長約 200 メートル程度の砂浜があり、プライベートビーチ的な雰囲気がある。</li> <li>・ エナ・ヴィレッヂは、この地区の観光の拠点としての役割を果たしている。</li> <li>・ 路線バスは運行されているが本数が少ないため、この地区の観光スポットへのアクセスは、車・バイク・自転車が多用されている。</li> <li>・ 主な宿泊施設として民宿がある。</li> </ul>

カ 初声地区（和田・三戸）



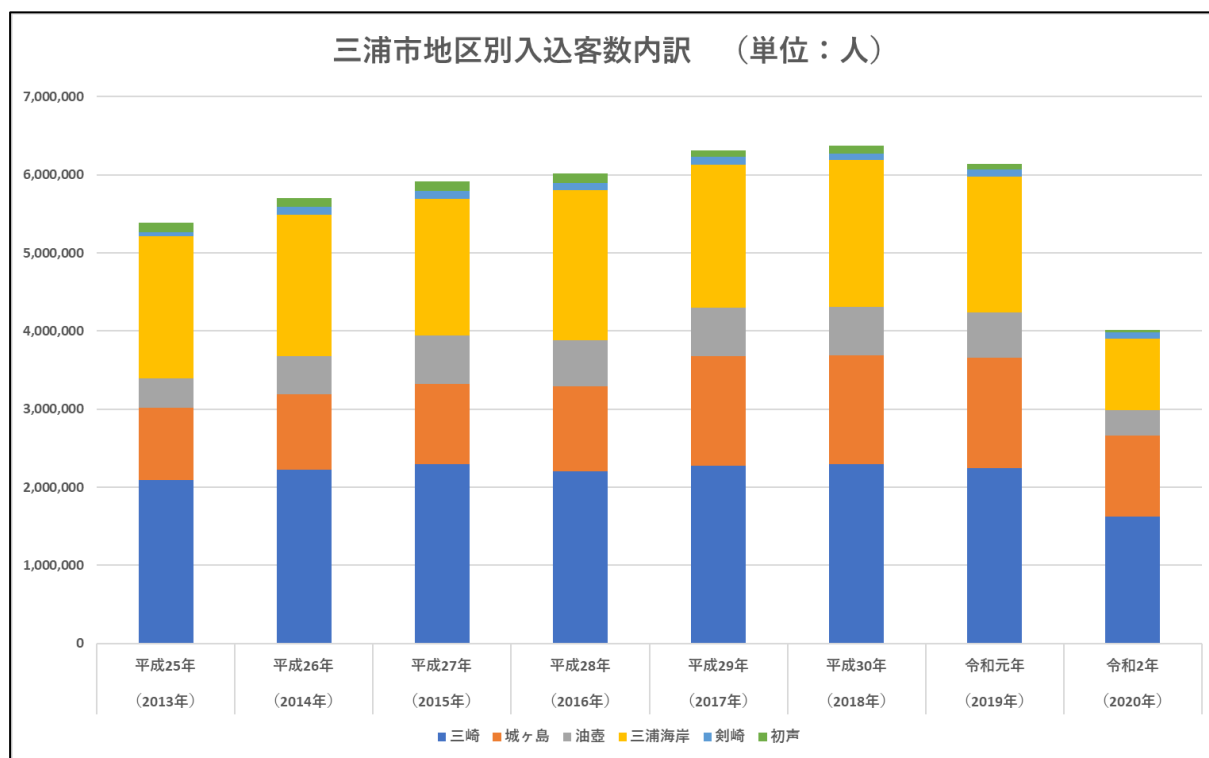
<p>主な観光資源 やイベント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和田長浜海岸（海水浴場・マリンレジャー）</li> <li>・三戸浜海岸（マリンレジャー）</li> <li>・ハイキングコース（関東ふれあいの道（首都圏自然歩道））</li> <li>・三浦YMC Aグローバル・エコ・ヴィレッジ（キャンプ・マリンレジャー）</li> <li>・各所にある（富士山・夕日などの）撮影スポット</li> <li>・黒崎の鼻</li> <li>・みうらレンタサイクル</li> </ul>
<p>特長・その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三崎口駅に観光案内所があり、みうらレンタサイクルのポートも開設されている。</li> <li>・観光施設としては海岸や海岸沿いのハイキングコースなどが主で、他の地区に比べると飲食店など観光の拠点となる施設が少ない。</li> <li>・三浦縦貫道路の延伸が進み、高円坊入口 I C が開設され、首都圏からの車でのアクセスは良くなった。</li> <li>・主な宿泊施設として三浦YMC Aグローバル・エコ・ヴィレッジや三戸地区の民宿がある。</li> </ul>



② 三浦市地区別入込客数の推移

三浦市全体の入込観光客数が増加傾向にあるなか、地区別の構成比で見ると城ヶ島が増加傾向で、その他は全体的に横這いとなっています。

また、三浦市全体の入込観光客数のうち、三崎地区、城ヶ島地区、三浦海岸地区の3つの地区で9割程度を占めています。



地区	(2013年)	(2014年)	(2015年)	(2016年)	(2017年)	(2018年)	(2019年)	(2020年)
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
三崎	2,092,300	2,222,600	2,292,400	2,200,700	2,278,000	2,290,700	2,248,300	1,628,100
城ヶ島	930,000	964,500	1,029,900	1,092,200	1,404,100	1,402,500	1,414,500	1,030,800
油壺	374,200	490,000	618,600	588,200	614,000	612,600	574,900	328,300
三浦海岸	1,817,900	1,811,200	1,755,500	1,917,600	1,837,600	1,880,700	1,736,200	911,200
剣崎	54,100	103,100	100,600	99,700	94,800	89,900	92,100	86,000
初声	119,600	115,500	121,300	118,400	82,500	94,500	73,600	33,100
合計	5,388,100	5,706,900	5,918,300	6,016,800	6,311,000	6,370,900	6,139,600	4,017,500

(出典：三浦市統計書及び神奈川県入込観光客調査結果 ※令和2年は速報値)

## 4 三浦市の観光振興の課題

### (1) 三浦市全体

#### ① 入込観光客数の維持・増加への取組

～受入環境の整備・観光資源の開発・新たな魅力の創造～

平成23年(2011年)の東日本大震災以降、三浦市の入込観光客数は増加傾向にあります。しかしながら、今後日本国内は更なる少子高齢化と人口減少が進む見込みであり、日本人観光客や外国人観光客の誘致に係る地域間競争は厳しさを増すことが容易に想像できます。

また、令和2年(2020年)から現在に至るまで、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で観光関連産業は大きな打撃を受けており、今まで以上に疫病や災害などにも強い持続可能な観光振興を推進していくことが求められています。

「ウィズコロナ」や「アフターコロナ」への対応や、外国人観光客などの多様化する観光ニーズに対応すべく、引き続き受入環境の整備や、地域の観光資源の開発、新たな魅力の創造などに取り組む必要があります。



#### ② 観光客消費額の維持・増加への取組 ～回遊性の向上・滞在時間の延長～

観光振興による地域経済の活性化を図るには、観光客により多くの消費をしていただくような仕掛けを講じ、入込観光客数の増加と連動した観光客消費額の維持・増加を図る必要があります。

そのためには、地域間の回遊性を高め、滞在時間の延長を図ることにより、複数地点での消費活動を促進するとともに、日帰りだけではなく宿泊を伴った観光も促せるよう、適切な施策に取り組む必要があります。



みうらレンタサイクル



みうらリゾートトゥクトゥク

(2) 三浦市内地区別

三浦市では、地区ごとに観光資源や交通インフラなどの地域を取り巻く環境が異なるため、観光振興を進めるに当たっては、地区ごとの特性に沿った施策が求められます。

ここでは、次のとおり地区ごとの課題を整理しました。

地区名	課題
三崎地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三崎のまぐろに続く観光資源としてのグルメの開発</li> <li>・海業、港町に因んだ新たな観光資源の開発</li> <li>・下町商店街の活性化</li> <li>・駐車場対策</li> <li>・城ヶ島以外の地区への回遊促進</li> </ul>
城ヶ島地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の再整備</li> <li>・水仙や雄大な景色、海産物など豊富な観光資源の更なる活用と効果的なプロモーション</li> <li>・地区内（島内）の回遊促進</li> </ul>
油壺地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸など従来からある観光資源の更なる活用に加え、小網代の森や油壺温泉など比較的新しい観光資源を活用した効果的なプロモーション（特に、地区の代表的観光資源である京急油壺マリンパーク閉館後のプロモーション）</li> <li>・小網代の森や（富士山・夕日などの）撮影スポットを活用した地区内の回遊促進</li> <li>・隣接する三崎地区などへの回遊促進</li> </ul>
三浦海岸地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜、マラソン、海水浴、花火以外の季節（秋・冬など）にお越しいただけるような新たな観光資源の開発</li> <li>・年間を通じた海岸の利活用</li> <li>・隣接する剣崎地区や初声地区への回遊促進</li> </ul>
剣崎地区 （松輪・毘沙門）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランド食材である「松輪サバ」の更なる認知度向上</li> <li>・その他、豊富な海産物を観光資源とした効果的なプロモーション</li> <li>・グルメに係る環境の整備（レストランや民宿の更なる利用促進を図るなど、グルメが楽しめる場所の整備・プロモーション）</li> <li>・自転車を活用した回遊促進</li> </ul>
初声地区 （和田・三戸）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海水浴以外の季節にもお越しいただけるような新たな観光資源の開発（（富士山・夕日などの）撮影スポット、農業体験、海洋教育など）</li> <li>・効果的なプロモーションによる地区の認知度向上</li> <li>・三崎口駅に比較的近いという地理的条件の活用（レンタサイクルの活用など）</li> <li>・三浦縦貫道路のICに近いという地理的条件の活用</li> </ul>

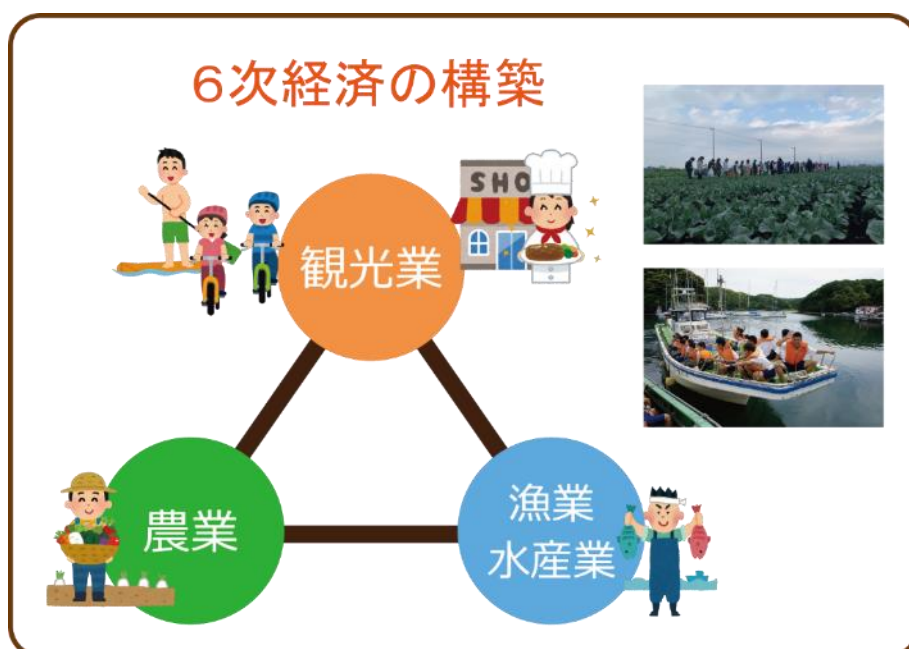
## 第3章 観光振興ビジョン

### 1 ビジョンが目指すもの

～三浦市ならではの6次経済の構築による観光振興～

三浦市の観光業は、農業、漁業・水産業と並ぶ市の基幹産業のひとつであり、観光施策の推進により地域経済の活性化を図ることが求められています。

そのため、観光業、農業、漁業・水産業といった3つの営みを基礎としながら、それぞれの業種がつくり上げてきた生産、加工、流通・販売など一連のビジネスの「しくみ」を共有し、業種の枠組みを超えて連携することで三浦市ならではの6次経済の構築を図り、観光客の多様なニーズに対応した複合的な観光サービスを提供するなど、観光振興に繋げることを目指します。



## 2 ビジョンの基本方針

### (1) 三浦市全体

第4次三浦市総合計画「三浦みらい創生プラン」の基本計画に掲げている展開方針と連動させるため、以下の4項目を基本方針とします。

#### ① 6次経済の構築

農業、漁業、観光業の連携による観光振興や三浦ブランドの開発など、市内外の事業者の取り組みや、異業種間の交流を支援し、6次経済の構築を進めます。

#### ② みうらシティ・セールスの拡充

市外での物産展出展や市内での各種イベントの開催等のシティ・セールス実践活動により三浦市の魅力を発信するとともに、集客力をさらに向上させます。

#### ③ 市民によるもてなし活動の促進

もてなしをテーマとする人材育成や市民活動を促進し、もてなしの活動に協力・参加している市民を増やします。

#### ④ もてなし空間の整備・提供の促進

観光施設、回遊ルート、観光案内表示板等の集客に必要な環境や、駐車場や公衆トイレ等の便利で快適な環境を適切に維持・向上させ、集客力をさらに強化します。



三崎のとろまん



市外での物産展



三崎木遣みこしパレード



観光案内表示板の整備

## (2) 三浦市内地区別

先述した地区ごとの課題を踏まえ、以下のとおりを基本方針とします。

地区名	基本方針
三崎地区	<ul style="list-style-type: none"><li>既に観光資源として活用されているうらりマルシェや昭和の趣のある港町、まぐろを中心としたグルメの更なる活用を図る。</li></ul>
城ヶ島地区	<ul style="list-style-type: none"><li>豊かな自然環境を活かしつつ、対岸の三崎地区との連携も図りながら来遊促進を図る。</li><li>地区の再整備の進捗状況に併せて、効果的な来遊促進を図る。</li></ul>
油壺地区	<ul style="list-style-type: none"><li>今後の一体開発も含め、油壺温泉などの施設と、海岸や小網代の森などの自然の更なる活用を図るとともに、みうらレンタサイクルを活用するなど、他地区との回遊の促進を図る。</li></ul>
三浦海岸地区	<ul style="list-style-type: none"><li>既に観光資源として活用されている桜、マラソン、海岸、花火、金田湾の朝市といった既存コンテンツの更なる活用を図る。</li></ul>
剣崎地区 (松輪・毘沙門)	<ul style="list-style-type: none"><li>レストランや民宿などの施設の更なる活用を図るとともに、みうらレンタサイクルを活用するなど、他地区との回遊の促進を図る。</li></ul>
初声地区 (和田・三戸)	<ul style="list-style-type: none"><li>海岸や宿泊施設の更なる活用を図るとともに、みうらレンタサイクルを活用するなど、他地区との回遊の促進を図る。</li></ul>

### 3 ビジョンの期間

観光振興ビジョンの期間は、令和3年(2021年)～令和7年(2025年)までの5年間とします。



## 第4章 観光振興ビジョンの目標達成に向けた施策と推進体制

### 1 ビジョンの具体的な展開

観光振興ビジョンが目指す「三浦市ならではの6次経済の構築による観光振興」の達成に向けて、基本方針ごとの具体的な展開に紐づく市の事業を明示します。

#### 基本方針1：6次経済の構築

具体的な展開：農業、漁業、観光業の連携による観光振興や三浦ブランドの開発など、市内外の事業者の取り組みや、異業種間の交流を支援し、6次経済の構築を進めます。

- みうら・みさき海の駅うらりセールスプロモーション事業
- みうらシティ・セールス事業

#### 基本方針2：みうらシティ・セールスの拡充

具体的な展開：市外での物産展出展や市内での各種イベントの開催等のシティ・セールス実践活動により三浦市の魅力を発信するとともに、集客力をさらに向上させます。

- みうらの魅力発信事業（三浦国際市民マラソン事業、みうら夜市事業、ウインドサーフィンW杯横須賀・三浦大会事業、地場産品消費拡大対策事業）
- 地域観光振興・情報発信事業

#### 基本方針3：市民によるもてなし活動の促進

具体的な展開：もてなしをテーマとする人材育成や市民活動を促進し、もてなしの活動に協力・参加している市民を増やします。

- 観光団体育成事業

#### 基本方針4：もてなし空間の整備・提供の促進

具体的な展開：観光施設、回遊ルート、観光案内表示板等の集客に必要な環境や、駐車場や公衆トイレ等の便利で快適な環境を適切に維持・向上させ、集客力をさらに強化します。

- ▶ 新たな観光の核づくり推進事業
- ▶ 観光解説板整備事業
- ▶ 三崎下町地区駐車場対策事業
- ▶ 観光インフォメーションセンター管理事業（案内所の移転やみうらレンタルサイクルの拡充・強化など）

## 2 ビジョンの情報戦略

近年、デジタルテクノロジーの進化に伴い、スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末が急速に普及し、SNSやブログなどのソーシャルメディアの発達や情報発信手段の多様化など、観光分野において重要な要素である「情報」を取り巻く環境は急速に変化しています。

観光振興ビジョンを推進する際には、このような変化に対応した施策を実行していくことが重要であり、ソーシャルメディアやアプリケーションの活用、二次元バーコードを使用した観光案内表示板等の整備、観光情報の多言語化、観光ウェブサイトの充実など、ICT（情報通信技術）を活用した取組を弾力的に推進していきます。

### 3 ビジョンの推進体制

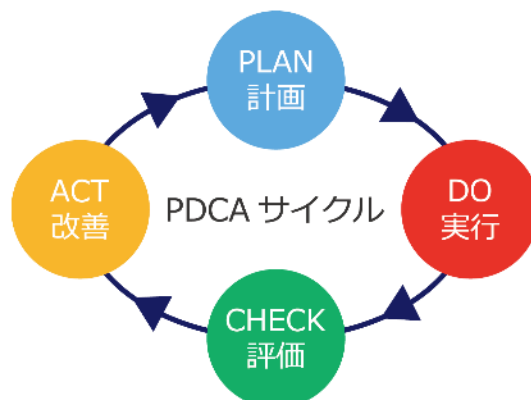
観光振興ビジョンの推進に当たっては、行政機関である三浦市と民間観光事業者の集合体である（一社）三浦市観光協会、三浦市の観光の中心的施設であるうらりマルシェを運営する(株)三浦海業公社が中心となり、スクラムを組みながら推進していきます。

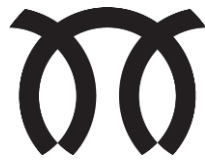
併せて、三浦商工会議所などの市内経済団体や、京浜急行電鉄株式会社をはじめとする三浦市の観光に関わる民間事業者、大学、他自治体、そして、もてなしの活動に協力・参加している三浦市民などとも十分に連携し、知恵を絞り、創意工夫を重ねることで課題を克服し、三浦市ならではの6次経済の構築による観光振興を推進していきます。



### 4 ビジョンの進行管理

第4次三浦市総合計画「三浦みらい創生プラン」の実施計画は、観光振興を含む15の重点施策を体系づけており、それぞれにKPI（重要業績評価指標）を設定し、その達成状況に係る評価を毎年度行っています。評価は、市役所による内部評価と三浦市総合計画審議会による外部評価において行っています。この評価結果を観光振興ビジョンの各施策や事業の改善（Act）・計画（Plan）・実行（Do）に活用していきます。





三浦市観光振興ビジョン

発行日：令和3年（2021年）5月

発行：三浦市

編集：経済部もてなし課

〒238-0298 三浦市三崎5丁目245-7 市場管理棟4階

電話：046-882-1111（代表）

FAX：046-882-5010